

小学校 国語

幼児教育での学びを受け、発展させる。 ⇔ ⇨ ⇩ ⇧

重点1 言語活動を通して付けたい力を付ける

- 各学年に示された指導事項をどの単元及び言語活動を通して指導するかを明らかにした年間指導計画を作成し、活用している。 ※例：マトリックス型の指導計画表
- 指導事項に示された資質・能力を育成するために効果的な言語活動を児童の実態を踏まえて設定し、児童の主体的な学びを引き出している。

【ポイント】

言語活動を設定する際、指導者が実際に活動を行ってみると、ねらいに沿った活動であるかや、具体的なゴールイメージ(力を付けた児童の姿)が確認できます。

重点2 主体的・対話的で深い学びを実現する授業展開を工夫する

- 児童自身が目的や必要性を感じる学習課題を設定し、見通しをもって個々の考えを形成する学習過程を重視した学習を進められるようにしている。
- 学習の系統性を意識し、単元と関連が深い既習事項を想起して活用できるよう支援している。
- 学習過程において効果的に伝え合う場を設定し、一人一人の多様な考えを引き出せるよう工夫している。
- 振り返りの観点を明確にして、自身の学びの深まりや変容を自覚できる場面を設定している。
- 授業と家庭学習との関連を図り、身に付けた言語能力をその後の学習や日常生活において活用しようとする意欲につなげている。

【ポイント】

教師主導の授業ではなく、児童と共に課題解決のための学習計画や見通しを立て、主体的な学びの場となるようにしましょう。

重点3 学習評価の一層の改善・充実を図る

- 3観点を意識して「指導と評価の一体化」を図り、記録に残す評価と指導に活かす評価を意識して指導計画を立て、多様な評価方法を工夫している。
- 観点別の評価は、原則として単元や題材など内容や時間のまとまりごとに、それぞれの実現状況を把握できる段階で行うなど、時期や場面を精選している。
- 単元の指導事項と言語活動を基に評価規準を設定する際、目指す児童の姿を具体的に表現するとともに、評価場面や評価方法を明確にしている。
- 「主体的に学習に取り組む態度」の評価について、「粘り強い取組を行おうとする側面」、「自らの学習を調整しようとする側面」の二つの側面から評価している。

【ポイント】

目指す児童の姿を具体的にするのに併せて、その姿が出るような授業づくりを目指すことが大切です。

中学校 国語

小学校までの学びを受け、発展させる。 ⇔ ⇨ ⇩ ⇧

重点1 言語活動を通して付けたい力を付ける

- 各学年に示された指導事項をどの単元及び言語活動で指導するかを明らかにした年間指導計画を作成し、活用している。 ※例：マトリックス型の指導計画表
- 指導事項に示された資質・能力を育成するために効果的な言語活動を生徒の実態を踏まえて設定し、生徒の主体的な学びを引き出している。

【ポイント】

言語活動を設定する際、指導者が実際に活動を行ってみると、ねらいに沿った活動であるかや、具体的なゴールイメージ(力を付けた生徒の姿)が確認できます。

重点2 主体的・対話的で深い学びを実現する授業展開を工夫する

- 生徒自身が目的や必要性を感じる学習課題を設定し、見通しをもって個々の考えを形成する学習過程を重視した学習を進められるようにしている。
- 学習の系統性を意識し、単元と関連が深い既習事項を想起して活用できるよう支援している。
- 学習過程において効果的に伝え合う場を設定し、一人一人の多様な考えを引き出せるよう工夫している。
- 振り返りの時間を確保し、自身の学びの深まりや変容を自覚できる場面を設定している。
- 授業と家庭学習との関連を図り、身に付けた言語能力をその後の学習や日常生活において活用しようとする意欲につなげている。

【ポイント】

生徒自身が目的に沿って試行錯誤しながら学習を進めることが大切です。

重点3 学習評価の一層の改善・充実を図る

- 3観点を意識して「指導と評価の一体化」を図り、記録に残す評価と指導に活かす評価を意識して指導計画を立て、多様な評価方法を工夫している。
- 観点別の評価は、原則として単元や題材など内容や時間のまとまりごとに、それぞれの実現状況を把握できる段階で行うなど、時期や場面を精選している。
- 単元の指導事項と言語活動を基に評価規準を設定する際、目指す生徒の姿を具体的に表現するとともに、評価場面や評価方法を明確にしている。
- 「主体的に学習に取り組む態度」の評価について、「粘り強い取組を行おうとする側面」、「自らの学習を調整しようとする側面」の二つの側面から評価している。

【ポイント】

・教師主導の一問一答式授業では3観点は評価できません。重点1・2を意識して指導計画を工夫しましょう。
・研究協議や校内研修等で目指す生徒の姿を共有し、生徒の学習状況や手立ての具体例を収集しましょう。

高等学校 国語

中学校までの学びを受け、発展させる。 ⇔ ⇨ ⇩ ⇧

重点1 言語活動を通して付けたい力を付ける

- 各学年に示された指導事項をどの単元及び言語活動で指導するかを明らかにした年間指導計画を作成し、活用している。 ※例：マトリックス型の指導計画表
- 生涯にわたる社会生活に必要な言葉の力を高めることを意識して付けたい力を明確化し、その力を付けるのに適切な言語活動を単元の中で設定し、生徒の主体的な学びを引き出している。

【ポイント】

「読むこと」「書くこと」「話すこと・聞くこと」の各領域をバランスよく扱い、生徒が単元を通して身に付けた力を実感できる授業デザインが大切です。

重点2 主体的・対話的で深い学びを実現する授業展開を工夫する

- 生徒自身が目的や必要性を感じる学習課題を設定し、見通しをもって個々の考えを形成する学習過程を重視した学習を進められるようにしている。
- 小中学校での学習を踏まえ、見通しをもたせたり、振り返りの時間を確保したりして、生徒が自身の学習状況を把握し、調整しようとする場面を設定している。
- 学習の系統性を意識し、単元と関連が深い既習事項を想起して活用できるよう支援している。
- 学習過程において効果的に伝え合う場を設定し、一人一人の多様な考えを引き出せるよう工夫している。

【ポイント】

学習指導要領が示しているこれからの生きる生徒に付けたい資質・能力と、そのために必要な学習のあり方を踏まえた授業改善を推進することが大切です。

重点3 学習指導要領を踏まえた学習評価の改善・充実を図る

- 3観点を意識して「指導と評価の一体化」を図り、多様な評価方法を工夫している。
- 単元の指導事項と言語活動を基に評価規準を設定する際、目指す生徒の姿を具体的に表現するとともに、評価場面や評価方法を明確にしている。
- 「主体的に学習に取り組む態度」の評価について、「粘り強い取組を行おうとする側面」、「自らの学習を調整しようとする側面」の二つの側面から評価している。
- 学習評価の妥当性や信頼性を高めるとともに、生徒自身に学習の見通しをもたせるため、学習評価の方針を事前に生徒と共有している。

【ポイント】

学習指導要領に則りながら、校内の教員間で明確化した付けたい力を共有し、力を合わせて授業計画を作っていくことが必要です。

小・中・高を通じて身に付けさせたい 資質・能力(目指す子どもの姿)

- ◎課題解決に向けて主体的に言語活動に取り組むとともに、言語感覚を磨き、国語を尊重する態度を身に付けている。
- ◎日常生活・社会生活において必要な国語の特質について理解し、適切に使っている。
- ◎他者とのかかわりの中で、互いの立場や考えを尊重し合いながら、思いや考えを言葉にして伝え合っている。
- ◎読書に親しみ、読書を通して人生を豊かにしようとする態度を身に付けている。
- ◎目的や意図に応じて必要な情報を収集・整理し、理由や根拠を示しながら自分の考えを明確に表現している。情報を活用する際には、学校図書館やICTも有効に活用している。

※例 マトリックス型の指導計画表

5年生	指導事項 学習過程	【思考力、判断力、表現力等】											
		A 話すこと・聞くこと				B 書くこと				C 読むこと			
月	単元名	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
		4	■■■■を話そう	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ
6	登場人物について感じたことを伝え合おう	ク										◎	○
6	■■■■を書こう		オ					○	◎		ク		
6	■■■■について話し合おう	イ				◎	ク						

研修等について

- 小学校国語科教育講座
9月13日(水) 島根県教育センター
- 小中学校国語科書写実技講座
10月11日(水) 島根県教育センター
- 新学習指導要領実施のための高等学校国語科授業改善研修
(西部) 10月27日(金) 浜田教育センター
(東部) 11月1日(水) 島根県教育センター
- 新任学校図書館担当者研修
6月20日(火) 島根県教育センター
- 学校図書館を活用した授業改善講座
11月9日(木) 浜田教育センター

※参考 ○『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料」(国立教育政策研究所)
<https://www.nier.go.jp/kaiatsu/shidousiryou.html>



○EIOS しまねの教育情報 Web 授業づくり(島根県教育庁教育指導課) 指導の重点・授業チェックリスト・学習指導案等
<http://eio-shimane.jp/class-making/>

